

部分補修(光硬化)・部分一体型補修(光硬化)

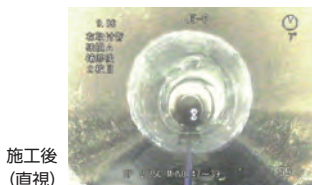
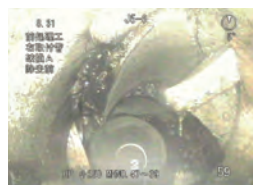
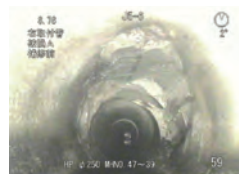
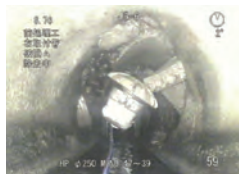
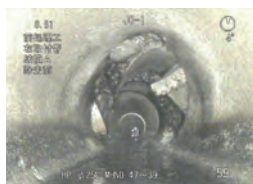
1 部分補修(光硬化) … 大きな破損個所の前処理/部分補強による修繕

状況

φ250HPの管きょにおいて、大きな破損が確認された。

対策

応急的な修繕ごとで、切削機での前処理と、光硬化工法での施工を行なった。



前処理中

前処理後

施工中

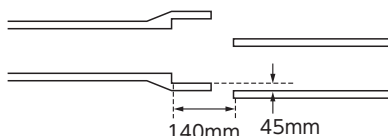
施工後
(直視)

施工後
(破損箇所)

2 部分補修(光硬化) … 大きな段差の補修

状況

φ250(ヒューム管) ジョイント部で、45mmの段差が生じ、汚水の漏水が認められた。

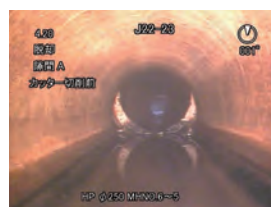


補修方法

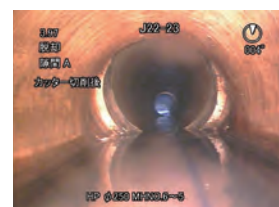
グレー部分を切削機で削り、有効内径を確保する。



部分補修工法で施工。(施工機はワンランク小さいものを使用)



施工前



切削後



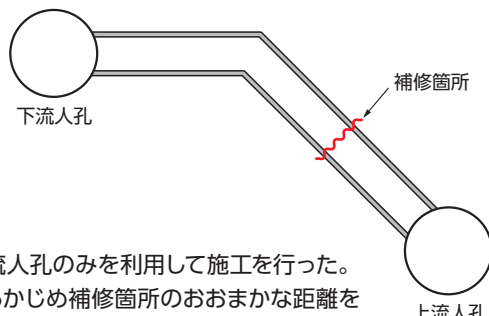
施工後

* 施工前の写真と比べると、明らかに内径の確保ができているのが判断できる。

3 部分補修(光硬化) … 両端人孔が利用できず、片側からの施工

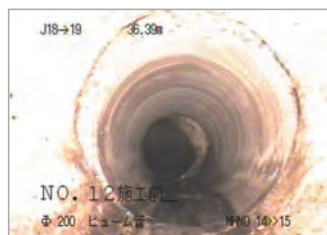
状況

φ200の管路の途中に45度の曲がり部分があったため、下流人孔からはカメラも施工機も入らない。

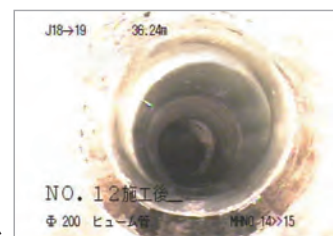


対策

上流人孔のみを利用して施工を行った。あらかじめ補修箇所のおおまかな距離を調べておき、補修材を巻いた施工機を挿入。補修箇所よりも奥(下流側)に留めておき、自走カメラを挿入。カメラ映像を確認しながら位置合わせを行った。



施工前



施工後